

議会活性化推進会議行政視察報告

議会活性化推進会議では、宇都宮市、岩倉市を視察しました。

概要は以下のとおりです。

(実施時期) 令和7年10月29日～令和7年10月31日

(実施都市) 宇都宮市、岩倉市

(実施内容) ・宇都宮市・・・議会ICT化の推進について
・岩倉市・・・岩倉市議会サポーターの取組について
議会ふれあいトークについて

〔宇都宮市〕

宇都宮市議会では平成27年6月にタブレット端末利活用検討会を設置し、タブレットの利用範囲、維持管理等の費用負担方法などについて検討を行い、平成27年12月に、全議員へタブレット端末を配布・運用を開始した。費用負担は全額公費となっており、利用範囲については事務局からの通知、執行部からの情報提供、スケジュール管理などとなっている。検討会では引き続きタブレット端末の運用に関する協議を進め、クラウドストレージサービスとしてSideBooksを導入し、平成28年8月からは、SideBooksを活用したペーパーレス会議を試行実施した。令和元年6月からは、ICT・DX化推進会議を設置し、グループウェアの導入や災害時におけるタブレット端末の活用など18項目について検討を行った。令和2年10月からは議員と事務局、議員間での連絡・調整・情報共有を円滑化するため、LINEWORKSを導入し、各種会議の開催通知等の周知や執行部からの情報提供の周知などに活用している。今後は、議場内の大型モニターの設置や電子採決システムの導入、より効率的な、効果的なペーパーレス会議手法の検討などを予定しており、引き続き議会のICT・DX化に取り組んでいくとの説明があった。

委員からは、SideBooks以外のペーパーレス会議システムの検討の経緯や、議員のタブレット操作に関する研修会の実施状況について質問が出た。



【宇都宮市：視察風景①】



【宇都宮市：視察風景②】

〔岩倉市〕

岩倉市議会では平成30年度に岩倉市議会サポーターを設置し、議会運営に関する要望、提言その他の意見を広く聴取し、議会運営に反映させ、議会の民主的な運営を推進している。サポーターの任期は1年間で再任を可としており、募集は無作為抽出及び公募による方法である。サポーターの主な役割としては、定例会翌月に開催するサポーターと議員との意見交換会に出席してもらい、傍聴、録画配信、市議会だよりなどを通して見た議会運営について意見をもらうほか、フリートークを行っている。また、サポーターの声という制度により、議会運営に対する率直な意見や感想を随時受け付けており、提出した声に対して回答を求めることもできる。回答を求められた意見については、回答を作成し、意見交換会の場でサポーターへ提示した後、ホームページでも公開している。

議会ふれあいトークについては、年2回、市議会での審議の結果等を市民に対して報告するとともに市政全般にわたる市民の意見を把握するために実施する議会報告会と、各種団体等から現状及び課題を聴取し、その意見及び要望を議会活動等に反映するために実施する意見交換会を実施しており、それぞれの開催実績について説明があった。

委員からは、議会サポーターとの意見交換の実施時期や、議会ふれあいトークで女性や若者の参加を増やすために工夫している点について質問があった。



【岩倉市：視察風景①】



【岩倉市：視察風景②】